

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス なないろの家		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 19日 ～ 2025年 9月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28人	(回答者数) 20人
○従業者評価実施期間	2025年 9月 19日 ～ 2025年 11月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 10人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの立案をチームで行い、固定化しないように工夫している	・季節の行事なども取り入れ、子どもたちが興味を持ちやすい活動プログラムを作成している ・子どもたちの発達段階や個々の特性に合わせて、活動内容の難易度や関わり方を調整している	・プログラムの内容を子どもたちからの意見を取り入れながら随時見直し、よりニーズに沿った内容に改善していく ・活動の様子を写真や簡単なコメントとともにホームページへ定期的に掲載し、保護者が内容を把握しやすいよう情報発信を行っていく
2	生活空間が子どもにとって分かりやすいように構造化されており、安心して活動に取り組める環境を整えている。また、事業所内の設備や環境は、子ども一人ひとりの障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達の工夫など、適切な配慮が行き届いている。そのため、子どもが安全かつ快適に過ごせる環境が確立されている。	・スケジュールなど視覚的に掲示し、見通しを持てるようにしている ・物の位置を一定に保ち、ラベルや写真を活用して「自分で見て分かる」環境を維持している ・動線が安全になるよう、職員間で配置や導線の工夫を共有	・子どもたち自主的に片付けしやすいよう、環境の配置や空間構成の工夫をさらに充実させる ・職員間での情報共有や連携を強化し、安全な動線や活動環境の維持を行う
3	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に繋げている	・毎朝、常勤スタッフでミーティングを実施し、前日の業務内容や子どもの様子、気づきを共有している ・ミーティングで出た意見や改善案を記録し、日々の支援方法に反映させている ・情報共有により、職員間の連携を強化し、子どもへの支援の質向上に繋げている	・改善した内容や進捗状況を定期的に全スタッフに共有し、「意見が反映される」という実感を持ってもらう ・必要に応じてミーティングの方法や情報共有の仕組みを見直す

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が少ない	・希望する声が少ない ・感染症対策で行事や交流事業が縮小され、以前のような外部交流の機会が戻っていない	・お祭りなど地域の方も参加できるイベントを今後も行っていく ・他の福祉施設等との交流機会も考えていきたい
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後デイサービス）

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス なないろの家

公表日 2025年12月21日

利用児童数 28人

回収数 20

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19			1		・基準よりも多い人数を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20					・今後も清潔で安心して過ごせる環境づくりを心がけていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	1				・支援プログラムはホームページ最下部からご覧いただけます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1			色々試して下さった中で子供たちに人気の遊びを選んで頂いているという印象です。	・今後も子どもたちが楽しみながら成長に繋がるようなプログラムを提供出来るようアイデアを出し合っていきます。
保 護 者 へ	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	6	3	7	これは仕方ない面があると思います。なないろの中で平和に楽しくやってきているので十分です(^^) コロナ禍以降なかなか難しくなっているように思います。	・お祭りなど地域の人も参加可能なイベントを行っています ・地域の公園などでその場に居た子どもと一緒に遊ぶ姿が見られたので継続していきたいです ・他の福祉施設との交流機会も企画していきたいと思っています
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19			1		・保護者様には「個別支援計画」と伝えているので、「放課後等デイサービス計画」というのがわからないと思います
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20				抜群です…!!	・今後ご家族の皆様のおいやり子ども自身の気持ちに寄り添いながら支援していきます。

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	2		4	・ベアレントトレーニングのご案内を定期的に発信しています。ご覧いただきぜひご参加いただけたらと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1		2	・ご相談があれば対応させていただくことは、面談でお伝えしていますので、ご利用いただけたらと思います
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19			1	・HPにブログを掲載しています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1		1	・書面で交わしています ・職員へ定期的に注意喚起を行います
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19			1	・年度明けに、年間の計画をデータ配布しています。ご覧ください
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1		2	・年度明けに、年間の計画をデータ配布しています。ご覧ください
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19			1	・必ずご連絡しています。ご安心ください
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	2			・子ども達が楽しく通えるよう工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20				いつも本当にありがとうございます。 私達家族だけでは思いもつかないような様々な経験をさせて頂き、感謝の思いしかありません。 なないろの家にご縁を頂けて私達は幸せ者です(^^)v

公表

事業所における自己評価結果（放課後デイサービス）

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス なないろの家				公表日 2025年12月21日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		・多めの配置を行っている ・余裕をもった職員配置である ・一人になりたいときに、安心して過ごせる個室がある ・物の置き場所や整理整頓を心がけ、空間を広く使えるように工夫している		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	10		・スケジュールボードやスタッフがメモを携帯し、視覚的に伝える体制をとっている。 ・3つの小部屋があり必要に応じてできる。 ・十分にとれている ・基準の3倍以上の人数がいる		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		・棚を工夫してわかりやすくしている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		・常に清潔を心掛けている ・おもちゃやゲーム等、種類が豊富で子ども達が楽しめる様にしている。他にも工作がしたい時は道具も揃っている ・個室やパーテーションを工夫して空間を作っている	・こまめな点検や整理整頓を意識していきたい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		・3つの小部屋があり、必要に応じて使用できる ・子どもの希望で、個室を使用する事が出来ている、また、静かに過ごしたい場合にも個室は落ち着ける空間となっている ・クールダウンできる部屋があったりパーテーションで区切ったりして自由にいる ・落ち着ける場所もある		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		・ミーティングしている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・保護者会なども開き、保護者会の意見を取り入れている ・ミーティングの開催をしている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・その日の子どもたちの気を付ける要点をミーティングファイルに書いて共有している ・担当者会議等、定期的に行われている ・ミーティングの開催をしている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	・実地指導を受けた ・協会に入り意見をもらっている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		・定期的に行っている		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		・常勤で会議して話し合って決めている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		・標準化された検査や療育の記録と保護者面談など、多方面よりアセスメントしている		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・定期的に全体ミーティングをしている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		・サービス担当者会議があり共有している ・すぐに確認できるよう目の届く所に配置されている ・計画書を見ながら支援できる体制を整えている		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		・標準化された検査や療育の記録と保護者面談など、多方面よりアセスメントしている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		・ガイドラインを熟知している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・ミーティングで行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・新しい課外活動へもチャレンジしている ・新しいプログラムを常に企画している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		・個別と集団両方の療育をしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・連絡ファイルで共有している ・ミーティングを行っている	日々のプログラムの準備や役割分担の確認が直前になることがあるため、余裕を持って準備出来るような工夫が必要
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・翌朝にミーティングを行っている ・ミーティングを行っている	ミーティング不参加だったスタッフへの周知を徹底していきたい
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		・気になった事など職員共有欄に記入している ・データとしていつでも見れる体勢が整っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・定期的に行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9		・1年を通してと月ごとにも見て組み合わせている ・偏りのないよう工夫している	
関係機関や保護者と	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		・子どものやりたいことを尊重している ・個々の能力に応じた選択方法を考え、自己決定を大切にしている ・視覚支援を用いて行っている ・子どもの楽しみのおやつなど季節によって種類を変えて選ぶ楽しさがある ・活動前に意思確認を行い自己選択を尊重。 選択が難しい子には視覚支援を活用している。 ・視覚的支援と本人の選択に力を入れている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・理解している職員が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・お便りでも伝えている ・必要に応じて主治医と面談している	・療育に行かされるよう、積極的に連携を図っていく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		・保護者や学校と連携しながらしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2	・関係機関よりその当時の様子を聞いたり保護者から情報を得たりしている ・必要に応じて情報を得ている	常勤が行っているので、非常勤の職員がいいえの回答になるのはやむを得ない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	・保護者より希望があれば態勢がある ・保護者を通して行っている ・必要に応じて情報を得ている	常勤が行っているので、非常勤の職員がいいえの回答になるのはやむを得ない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3	・センターではないがスーパーバイズの助言は受けている	・まずはセンターからの発信をさらに発信し、支援についての知見を広げていく

の 連 携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・お祭りなど地域の人も参加可能なイベントを行っている ・地域の公園などでその場に居た子どもと一緒に遊ぶ姿が見られた ・定期的に行っている 	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回参加している 	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳の作成をしている 	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行っている 	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に行っている 	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・本人中心支援で行っている ・ミーティングを行っている 	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回対面にて面接を行い、丁寧に説明を行っている ・対面での面談で行っている 	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・家族支援を行っている 	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に保護者会を開催している ・家族支援を定期的に行っている 	・気軽に参加できる機会を増やせる様、努めたいです。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・家族支援を定期的に行っている 	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや活動記録で情報提供している ・HPにブログを掲載している 	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		
非 常 時 等 の 対 応	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的支援に力を入れている 	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・お祭りの際にこどもの家族を招待して色々なコーナーで楽しんでもらっている。 ・定期的に行っている 	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行っている 	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練が行われている ・定期的に行っている 	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬依頼書もらっている 	発作時の対応は今後の研修にて行う予定
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ドクターの指示を受けた ・保護者の指示に従っている ・保護者より聞きとりをしている ・保護者より書面で報告してもらっている 	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のチェックリストがある 	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画を保護者に配布している 	

	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		・全員にしている	できるだけ速やかに回覧し、情報共有している
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・研修をしている ・定期的に研修が行われている ・定期的に行っている 	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		・保護者にも説明をしている	

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス なないろの家			
○保護者評価実施期間	2025年 9月 19日		～	2025年 9月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	4人
○従業者評価実施期間	2025年 9月 19日		～	2025年 11月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数)	10人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの立案をチームで行い、固定化しないように工夫している	・季節の行事なども取り入れ、子どもたちが興味を持ちやすい活動プログラムを作成している ・子どもたちの発達段階や個々の特性に合わせて、活動内容の難易度や関わり方を調整している	・プログラムの内容を子どもたちからの意見を取り入れながら随時見直し、よりニーズに沿った内容に改善していく ・活動の様子を写真や簡単なコメントとともにホームページへ定期的に掲載し、保護者が内容を把握しやすいよう情報発信を行っていく
2	生活空間が子どもにとって分かりやすいように構造化されており、安心して活動に取り組める環境を整えている。また、事業所内の設備や環境は、子ども一人ひとりの障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達の工夫など、適切な配慮が行き届いている。そのため、子どもが安全かつ快適に過ごせる環境が確立されている。	・スケジュールなど視覚的に掲示し、見通しを持てるようにしている ・物の位置を一定に保ち、ラベルや写真を活用して「自分で見て分かる」環境を維持している ・動線が安全になるよう、職員間で配置や導線の工夫を共有	・子どもたち自主的にが整理・片付けしやすいよう、環境の配置や空間構成の工夫をさらに充実させる ・職員間での情報共有や連携を強化し、安全な動線や活動環境の維持を行う
3	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に繋げている	・毎朝、常勤スタッフでミーティングを実施し、前日の業務内容や子どもの様子、気づきを共有している ・ミーティングで出た意見や改善案を記録し、日々の支援方法に反映させている ・情報共有により、職員間の連携を強化し、子どもへの支援の質向上に繋げている	・改善した内容や進捗状況を定期的に全スタッフに共有し、「意見が反映される」という実感を持ってもらう ・必要に応じてミーティングの方法や情報共有の仕組みを見直す

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的に避難訓練を行われていることが周知されていない	・個別支援計画や サービス提供記録、毎月のおたよりに記載されていることが保護者に認知されていない	・ホームページやアプリ内にはすでに掲載しているが、周知が進んでいない状況のため、面談時にも伝えていく
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス なないろの家

公表日 2025年 12月 21日

利用児童数 6人

回収数 4

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3			1		施設見学に適宜対応しています
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4					
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2		1	1		地域の公園や施設に出かける等の活動を提供しています。 地域へ課外活動を行っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1		1		ペアレントトレーニングのご案内を定期的に発信しています。ご覧いただきぜひご参加いただけたらと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3		1			面談を定期的に行っています。 ご相談案内も発信していますので、ご利用いただけたらと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3		1			お迎え時にお話しできる時間を設けています。 保護者さまが安心して話せるような環境になるよう意識しています
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	1			交流会の案内を発信しています。 ご覧いただき、ぜひご参加いただければと思います きょうだいに参加できるイベントを検討したいと思います

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			1	年度明けに年間の安全計画をデータで配布しています。 ご覧いただけたらと思います。 避難訓練の様子をサービス提供記録に記載しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3			1	年度明けに保護者様に年間の安全計画をデータで配布しています。 ご覧いただけたらと思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3			1	事故やケガがあった場合は必ずご連絡させていただきます。 ご安心いただけたらと思います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3	1		笑顔で通えています。	気分が乗らない時などもあるかと思っています。 その時には無理に療育をするのではなく好きなものを楽しんでもらうようにしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4				

公表

事業所における自己評価結果(児童発達支援)

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス なないろの家

公表日 2025年12月21日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		・個室も充実している ・必要に応じてパーティションで区切ったり個室を提供している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		・基準の3倍以上の人数がいる	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		・必要に応じてパーティションで区切り提供している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		・個室やパーティションを工夫して空間を作っている ・開所日は必ず終了後に清掃している	・今後も清潔で安心して過ごせる環境づくりを心がけていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		・落ち着ける場所もある	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		・ミーティングしている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・ミーティングの開催をしている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・ミーティングの開催をしている ・気づきシートを採用している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	・実地指導を受けた	・今年実地指導があり、改善点は修正しました。 ・社内委員会で外部の専門家に参画してもらい、必要に応じて改善意見をいただいている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		・定期的に行っている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・定期的に行っている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		・標準化された検査や療育の記録と保護者面談など多方面によりアセスメントしている ・計画毎に保護者に子供の様子を聞きアセスメントに反映させている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・課題などを話し合い共通理解を持って支援にあたるようにしている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		・計画書見ながら支援できる体制を整えている ・すぐ支援計画が見れる環境が整っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		・標準化された検査や療育の記録と保護者面談など多方面によりアセスメントしている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		・ガイドラインを熟知している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・ミーティングで行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		・新しいプログラムを常に企画している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		・個別と集団両方の療育をしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		・ミーティングを行っている ・ミーティング内容をノートに記入し全員が把握できるようにしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・ミーティングを行っている ・翌朝ミーティングでまとめて行っている	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		・データとしていつでも見れる体制が整っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・定期的に行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・全員参加を基本としている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		・必要に応じて主治医と面談している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		・必要に応じて情報提供、情報共有、保護者からの情報収集等を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	2	・必要に応じて行っているが基本保護者を通して行っている ・必要に応じて依頼があれば行っている	・保護者を通して行っている。 ・今後も連携できる体制を維持しつつ、連携について積極的に考えていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	5	2	・センターではないがスーパーバイズの助言を受けている	・まずはセンターからの発信をさらに発信し、支援についての知見を広げていく
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	2	・定期的に行っている ・お祭りなど地域の人も参加できるイベントがある	・地域の公園の利用の回数を検討し直す
保護者への説明等	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・連絡帳の作成を行っている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		・定期的に行っている	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		・契約時に行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		・ミーティングを行っている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		・対面での面談で行っている ・半年に一度保護者との面談が行われている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・家族支援を定期的に行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		・家族支援を定期的に行っている	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・申し入れがあればスピーディーに行っている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		・HPにブログを掲載している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		・個人情報についての書面を交わしている	

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		・視覚的支援に力を入れている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		・定期的に行っている	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		・定期的に行っている ・研修を行ない資料や動画から学び実際に起きた時の対応策を話し合っている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		・定期的に行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		・服薬依頼書もらっている	・発作時の対応については今後の研修を予定している
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		・保護者より書面で報告してもらっている ・保護者からの指示（ドクターからの指示）にそっている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		・毎日のチェックリストがある	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		・安全計画を保護者に配布している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		・全員にしている	・速やかに回覧し、情報共有していくこと
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		・定期的に行っている ・定期的に研修が行われている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		・保護者に説明をしている ・見直しも行っている	